

水道局の運営にあたって

—取組姿勢—

各家庭の蛇口に水をお届けするためには、水源の確保から、水をつくる浄水場、その水を運ぶ管路などが適切に維持・管理され、それらのすべてがつながってはじめて機能します。

札幌の水道事業は、高度経済成長と急速な人口増加に対応して施設を整備してきましたが、今後は、これらの更新に向けた取組を加速していく必要があります。また、地震などの自然災害や事故等にも適切に対応していかなければなりません。

これらの課題は一朝一夕に解決できるものではなく、長期的な視点に立って計画的に事業を進めていくことが必要です。そこで今年度は、今後 10 年間の札幌水道が進むべき方向性をお示しするための中長期の事業計画である「札幌水道ビジョン」を策定します。

ビジョンの策定にあたっては、水道が自然条件や社会環境など地域の実情に応じた固有のシステムとして成り立っていることを踏まえ、これからも「地域の心」が込められた水道を目指していくため、利用者の声を聴き、そのニーズを的確に把握し、反映していきたいと考えております。

「安全でおいしい水をいつでも安心して飲むことができる」という信頼に応え、将来にわたって持続可能な強い水道を実現するため、実施プランに掲げた事業等を中心に全職員が一丸となって取り組んでまいります。

—最重点取組項目—

- 1 札幌水道ビジョンの策定
- 2 事故や災害に強い水道の構築
- 3 更新等の財源確保のための財務基盤の強化

平成 26 年(2014 年)4 月

札幌市水道事業管理者
水道局長 長利 秀則